

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 陽 楽作成日: 令和 元年 8 月 28 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化し、内容が画一化傾向にあるので参加委員を増員し、新しい風を取り込んで参加委員が参加したくなる運営推進会議を目指していく。	薬剤師、公民館館長、交番警察官、地域包括支援センターの社会福祉士等の有識者や知見者に参加を促し、ホームの繁栄だけでなく参加者にとっても知識や情報を得る重要な会議として取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回避難訓練を実施しているが、夜勤者が1人で、夜間に9名の利用者を安全に避難することの難しさを理解し、何回も訓練を繰り返し、夜勤者が自信を持って夜勤出来る体制を整える。	職員同士で避難訓練を実施して、夜勤者が目標タイムを設定して、達成に向けて何度も訓練を行い、目標をクリアして利用者が安全に避難できる体制を確立していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。